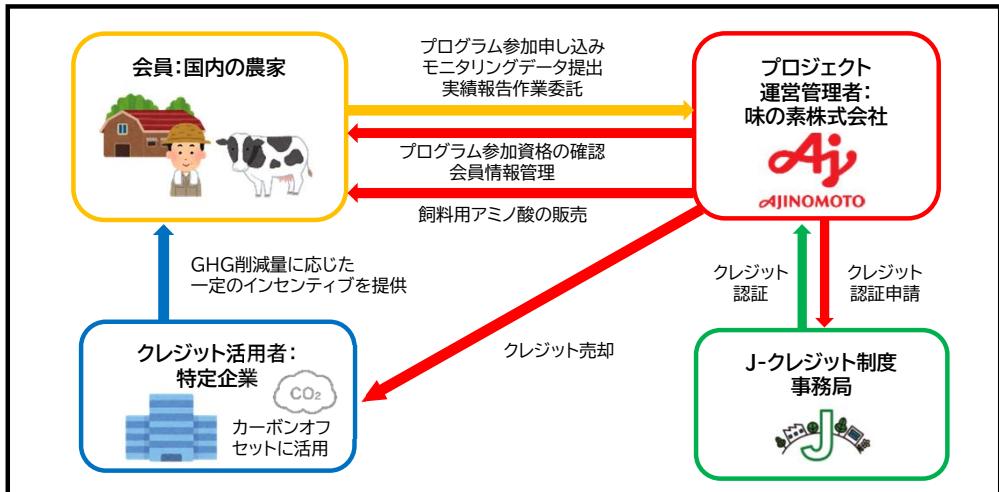


乳牛へのアミノ酸バランス改善飼料の給餌プロジェクト(運営管理者名：味の素株式会社)

プロジェクトの概要

対象畜種	乳用牛
対象地域	全国
削減手法	乳用牛へ慣用飼料に代えてアミノ酸バランス改善飼料を給餌することにより、排せつ物管理から温室効果ガス(GHG)排出量を削減する。 (方法論:AG-001)



■ 会員農家の声 (青森県：有限会社金子ファーム・株式会社NAMIKIデーリィファーム)

- 取引先の飼料メーカーからの提案を受け、本プロジェクトの会員となり、令和6年5月から自社のTMR飼料に飼料用アミノ酸を混合し給餌を始めました。
- 飼料用アミノ酸の給餌により、タンパク質の吸収率が向上し、飼料コストの削減につながる効果が得られています。
- 参加に当たりに飼養頭数や乳量、自給飼料の飼料分析データなどの記録・提供が必要ですが、既存の経営データで対応が可能でした。
- 従来の飼養管理方法から大きく変えることなく、クレジット収入、飼料費の削減、環境負荷低減の実績、従業員のモチベーションアップが得られましたが、ステークホルダーと連携してブランド価値の向上や販路拡大につなげていく仕組みづくりが課題です。
- 今後は肉用牛部門でもGHGの排出量の削減に取り組んでいきたいと考えています。

(令和7年7月時点)